

## 滑川西地区の主な提言等と回答

「市長と語る会」

と き:平成22年11月9日(火) 19:30~21:00

ところ:西地区公民館(42人参加)

	提言等の項目	主な提言等	回答要旨
1	コミュニティバス	「橋場～雪嶋神社前」間の距離がかなりあり、高齢者などの利用者にとって不便である。河端町や田中町の人が利用しやすいよう、バス停の増設も含めて検討してほしい。	停留所の場所については、市内全域から要望が寄せられており、増設に関しては警察との調整が必要なことから、来年度の本格運行に向けて、運行経路・ダイヤ編成等ともあわせて関係機関とも連携を図りながら検討させていただきたいと思えます。
2	養鶏場建設問題	現況はどうなっているのか聞かせてほしい。市と市議会が業者側からの説明を受けたと聞いたが、その後の経過はどうなっているのか。また、養鶏場建設計画は法律的には止めることができないのか。基本的には「業者が建設計画を諦めるしか問題解決の方法はない」という認識でよいか。	自治会連合会と市環境衛生協議会が中心となって署名活動を行なっておられるが、市内全域で7割近い署名が集まり、今後書類を業者に手渡す予定だと聞いています。議会は全会一致で反対の決議を得られたところであり、市長も9月議会後副市長や正副議長とともに業者へ出向き、計画撤回の要望を行なったところであり、併せて魚津市や県の関係機関にも出向いています。現在は、業者の申請書類のうち農地転用の関係書類が一部そろっていないとのことで、魚津市の方で保留状態になっている状況です。 滑川のきれいな水は市民生活を潤すだけでなく、企業団地や工場誘致をもたらしてきたところであり、早月川は滑川・魚津の双方が大切にしなければならない宝だと感じています。行政で計画を止めることが難しい中、計画の撤回には住民パワーの存在が必要不可欠であり、今後も市民のお力添えをいただきながら問題解決に取り組んでまいります。
3	消防団活動	地区では団員を確保することが年々難しくなっている。会社・事業所に対する優遇措置を設ければ、団員の確保につながるのではないかと。また、団員は会社や仕事のことを優先しなければならず、有事の際に出動できる体制にはなっていない。消防団活動は会社等の理解と協力が不可欠であり、行政としても協力してほしい。	ご意見等については、今後の参考にさせていただきます。

	提言等の項目	主な提言等	回答要旨
4	事業仕分け	滑川市で実施済みであるならばその結果等について教えてほしい。また、未実施であるならば実施しない理由を教えてほしい。	当市では「行政評価」という手法を用いて、既存の事業の必要性や実施主体のあり方、予算の妥当性等を検証していくこととしています。現在本市では事業仕分けを実施していないが、射水市に視察に行くなどして事業仕分けの手法の勉強を進めているところであり、今後もメリット・デメリット、問題点を見極めながら、様々な行政改革の手法について検討を進めてまいります。
5	沖田川改修	国の政権交代もあり予算的に厳しいということは理解しているが、工事が途中で終わることのないよう、また平成28年度までという計画だが、多少延びても構わないのでしっかりやってほしい。	国土交通省の富山事務所の所長からは、新幹線の平成26年開業を終えるまでは、県内全域において工事に関する予算の確保が難しいと聞いています。厳しい状況ではあるが、市として今後も事業のさらなる推進に努力してまいりますのでご理解願います。
6	作詞家高島氏	市を代表する作詞家高島さんの記念館を作ってはどうかという話題が町内であがっている。また、「滑川市の歌」の歌詞については、ご家族の承諾を得て平成21年2月に2題目の歌詞が一部改訂(旧:裏日本に→新:広く日本に)されたとのことだが、市を代表する歌詞を簡単に改訂してよかったのか。	歌詞については、ご親族の了解を得たうえで改訂したところであり、ご理解を願います。